

2019年度大学院生海外研究派遣助成募集要項

2019年8月28日
国際センター国際交流委員会決定

1. 趣旨

群馬大学における教育・研究の発展及び高い専門性と国際的リーダーシップ能力を備えたグローバル人材の育成を目指し、大学院生が行う海外の大学・研究機関等における調査、研究活動等、及び海外の学会での発表を支援する。

2. 応募資格

本学の大学院に在籍する正規生であること。

3. 申請区分

- (1) 海外における調査、研究活動
- (2) 海外で開催される国際学会、研究集会等での発表
- (3) 協定校等における調査、研究活動を主体とした短期研修等への参加
- (4) 1. に掲げる趣旨に合致するものとして国際センター国際交流委員会が認めたもの

4. 募集人数及び助成額

概ね20名、派遣地域（別紙参照）により、以下のとおり支給する。

- ・ 指定都市 10万円
- ・ 甲地域 8万円
- ・ 乙地域 7万円
- ・ 丙地域 6万円

5. 提出書類

- (1) 申請書（様式1）
 - (2) 指導教員の推薦書（様式2）
 - (3) 受入れ機関からの招へい状等（申請区分3.（1）の場合、メールの写し可）
 - (4) 国際学会等の開催通知、プログラム等の写し、及び役割が記載されている手紙等の写し（申請区分3.（2）の場合）
 - (5) 短期研修等の募集要項及び申請書又は参加者名簿等の写し（申請区分3.（3）の場合）
 - (6) 当該教育研究活動の内容が分かる書類（申請区分3.（4）の場合）
- ※各書類を正本1部提出するものとする。メールによる申請も可とする。

6. 各研究科等募集期限

2019年 月 日（ ）

7. 審査方法及び助成対象者の決定

各研究科は、順位を付した申請者一覧を申請書等とともに国際課へ提出する。国際交流委員会において「大学院生海外研究派遣助成採択方針」に基づき、審査の上、助成対象者を決定する。

選考結果は、所属する研究科（理工学府を含む。以下同じ。）の長（生体調節研究所長を含む。）及び申請者あて12月下旬に通知する。

8. 実施報告及び本学の国際交流活動への協力

本事業により助成された者は、帰国後1ヶ月以内に別紙「海外研究派遣報告書（様式3）」を提出の上、成果報告会において派遣成果等を発表し、本学の国際交流活動に協力すること。

9. その他留意事項

- (1) 申請は、1名1件限りとし、所属研究科の担当係へ提出すること。
- (2) 当該申請書等の様式は、国際センターホームページからダウンロードすること。
- (3) 渡航時期については、2019年4月1日以降に出国し、2020年3月31日までに帰国するものとする。
- (4) 3.（1）及び（2）において、同様の目的とした他の助成等との併給はできない。両方とも採用された場合、どちらかを辞退しなければならない。なお、重複申請は可とする。また、費用の一部を運営費交付金や科学研究費等の公費から支出することはできない。

(5) 3. (3)において、JASSO 海外派遣奨学金または群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金との併給はできない。なお、重複申請は可とする。

10. 各研究科等から国際課への書類提出期限及び照会先等

書類提出期限：2019年 11月 29日(金)

書類提出先および照会先：国際課 武井 内線7627

g-exchange@jimu.gunma-u.ac.jp

(別紙)

地区	地域名・都市名
指定都市	シンガポール, ロサンゼルス, ニューヨーク, サンフランシスコ, ワシントン, ジュネーブ, ロンドン, モスクワ, パリ, アブダビ, ジッダ, クウェート, リヤド, アビジャン
甲地方	北米, 欧州, 中近東 (アゼルバイジャン, アルバニア, アルメニア, ウクライナ, ウズベキスタン, エストニア, カザフスタン, キルギス, グルジア, クロアチア, コソボ, スロバキア, スロベニア, セルビア・モンテネグロ, タジキスタン, チェコ, トルクメニスタン, ハンガリー, ブルガリア, ベラルーシ, ポーランド, ボスニア・ヘルツェゴビナ, マケドニア旧ユーゴスラビア共和国, モルドバ, ラトビア, リトアニア, ルーマニア, ロシアを除く) (主な都市) ボストン, シアトル, アンカレッジ, ホノルル, シカゴ, ニューオリンズ, ヴァンクーバー, トロント, モントリオール, アムステルダム, コペンハーゲン, フランクフルト, マドリッド, チューリッヒ, ブラッセル, ローマ, ハンブルグ, ウィーン, エルサレム
乙地方	指定都市, 甲地方, 丙地方以外の地域 (主な都市) ソウル, ジャカルタ, マニラ, バンコク, ヤンゴン, クアラルンプール, プラハ, ブダペスト, ソフィア, タシケント, サンクトペテルブルク, シドニー, メルボルン, ウェリントン
丙地方	アジア (インドシナ半島 (シンガポール, タイ, ミャンマー, マレーシアを含む), インドネシア, 大韓民国, 東ティモール, フィリピン, ボルネオ, 香港を除く), 中南米, アフリカ (主な都市) 北京, 上海, 台北, メキシコシティー, リマ, サンパウロ, リオデジャネイロ, ブエノスアイレス, カイロ, ナイロビ, ケープタウン

大学院生海外研究派遣助成申請書等作成にあたっての注意事項

1.申請者欄

- (1)「氏名」は、記名押印すること。ただし、メールによる申請の場合は、押印は省くことができる。
- (2)「申請区分」は、該当するものに○を付すこと。「その他」に該当する場合は、その具体的な事項を記入すること。
- (3)「研究課題」は、申請区分が国際学会・短期研修等の場合、その名称（英文・和文）を記入すること。

2.研究日程

- (1)「研究機関等」には、受入れ機関（協定校等）名、教員名（所属・職名）を記入すること。国際学会等の場合は、主催団体名を記入すること。

3.他の助成プログラムへの申請状況

- (1) 本助成プログラム以外の、他の財団等が実施している助成プログラムに係る申請状況について、「あり」「なし」の該当する方の口に✓を付すこと。
- (2) (1)で「あり」を選択した場合、助成団体名、助成プログラム名、助成額及び採択結果通知（予定）日を記入すること。助成額は、月額か総額か○で囲むこと。
- (3) 採択結果がわかっている場合は、備考欄に結果を記入すること。
- (4) 申請区分が3の場合で、参加する短期研修が JASSO 海外派遣奨学金、または群馬大学学生海外派遣支援事業奨励金の対象である場合、短期研修名等を記載すること。

4.研究活動等目的・必要性

これまで進めてきた研究と関連させて記入すること。

5. 研究活動等の計画・内容

- (1) この研究活動等を実施するに至った動機や背景、計画の妥当性や派遣先における具体的な活動内容、調査研究方法について記入すること。（専門を異にする者が解るような内容とすること。）
- (2) 国際学会等については、以下の事項を記入すること。
 - ①当該会議の概要・構成、②開催期間、③会議における役割（講演、研究発表、ポスター発表、座長等）、④講演・発表題目（英文・和文）、⑤講演・発表概要
- (3) 短期研修等については、研修の概要（趣旨・目的、実施期間、内容）について記入すること。

6.帰国後に期待される成果等

この研究活動等により期待される成果を、今後の研究活動にどう活かすかを含め、記入すること。

7.その他

- (1) 本件申請に当たっては、必ず事前に指導教員の許可を得ること。また、指導教員が記名、捺印した推薦書を申請書等と共に期限までに所属研究科の担当係を経由し国際課へ提出すること。
- (2) 国際学会等開催通知、研修の内容の写し等の添付書類を各研究科等が設定した期限までに提出できない場合は、各研究科等の担当係にその旨連絡の上、入手でき次第速やかに提出すること。